

JICA共創×革新プログラム「QUEST」

プログラム説明資料

主催：独立行政法人国際協力機構

運営：デロイト・トーマツベンチャーサポート、デロイト・トーマツファイナンシャルアドバイザリー、監査法人トーマツ

作成：2025年4月7日（Version 3）



「共創」と「革新」により世界の課題解決を推進すべく、JICAは共創促進プログラム「QUEST」を立ち上げました

本プログラムの背景

課題の複雑性

- グローバリゼーションと相互依存の世界において、世界は地球規模の複雑な課題に直面
- 課題解決に向けて、これまでにないイノベティブな取組みも急務

膨大な開発資金ニーズ

- 2030年のSDGs 達成に向けて年間4.2兆ドルの資金ギャップが未だ存在
- 民間による途上国へのより一層の資金流入に向けて、ODA の「触媒」的機能の強化が必要

双方向の協力

- 日本と途上国のパートナーシップに基づく、日本を含む先進国と途上国の双方向の国際協力がますます重要になっている

開発の担い手の多様化

- 企業や自治体、市民社会、アカデミア等、多様なアクターの参画・連携によるコレクティブインパクト創出の重要性がより高まっている状況

複雑で膨大な社会課題の解決に向け、**共創 (Co-Creation)** と **革新 (Innovation)** が一層求められている

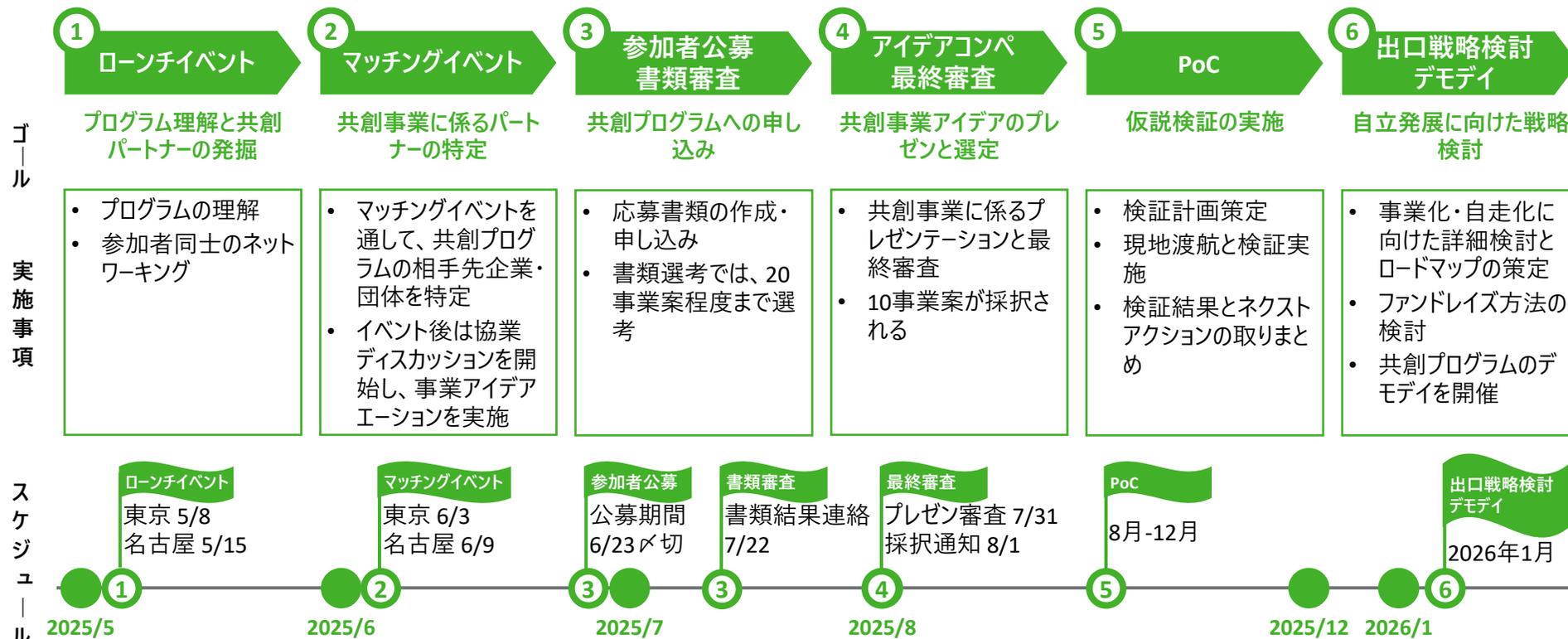
本プログラムの概要は以下の通りです

本プログラムの概要

主催	<ul style="list-style-type: none">主催：独立行政法人国際協力機構運営：デロイトトーマツベンチャーサポート、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー、有限責任監査法人トーマツ
プログラム目的	<ul style="list-style-type: none">各アクターの有機的な連携を推進し、社会課題解決に貢献するイノベティブな共創事業を創出する
期間	<ul style="list-style-type: none">2025年2月～2026年2月
対象企業/団体 (国内外問わず)	<ul style="list-style-type: none">民間企業（大企業、中小企業、スタートアップ）アカデミア（大学、高専、研究所）市民社会（NGO）公的機関（政府関係機関、地方自治体）
対象エリア	<ul style="list-style-type: none">社会課題解決に貢献し得る事業であれば、国や地域は限定無し
主な活動	<ul style="list-style-type: none">上記対象企業/団体間におけるマッチングを通じた共創事業の企画共創事業を選抜する為のアイデアコンペ対象国におけるPoC（採択事業数：10件）出口戦略の検討
参加企業/団体への提供価値	<ul style="list-style-type: none">共創事業創出に向けたマッチング支援専門コンサルタントによる共創事業アイデアエーションやPoC企画・実施、出口戦略（ファンドレイズ）検討支援最大300万円/件のPoC費用

プレイベント、マッチングイベント、アイデアコンペ、PoC、出口戦略検討、デモデイが主な活動で、その全てをJICAとデロイトトーマツGr.が伴走支援します

全体ステップ



JICAとデロイトが伴走支援を提供



Deloitte.
デロイトトーマツ

- 開発課題に精通するJICAと、事業開発の専門家であるデロイトトーマツGr.が共創事業創出を伴走支援
- マッチング、事業アイデアエーション、PoC、出口戦略策定まで、一貫したハンズオン支援を提供します
- 既存事業拡大や新規事業創出～事業化など、様々な目的を持った方々にご参加いただけます

本プログラムでは国内外問わず、多くのアクター参画とマッチングを推進します

マッチングイメージとJICAの支援事例

マッチングのイメージ

- 本プログラムでは、国内外問わず以下のようなアクター全ての方のご参加が可能です
- パートナーについても業態・業種に制限はございません



JICAにおけるマッチング及び協業検討/PoCの支援事例

- JICAはこれまでも様々なアクターのマッチング及び事業創出を支援しており、本プログラムはそのような活動をより促進する事を企図しています

— 日系大企業×海外スタートアップ —



- NECグループNEC XON社がNINJAアクセラを通して、南アフリカスタートアップ2社とのマッチング及びPoCを実施

— 日系スタートアップ×海外大企業 —



- 日系スタートアップのエアロネクストがモンゴル企業のNewcom社等と協業し、現地での物流事業を展開

— JICA海外協力隊 x NGO —



- JICA海外協力隊起業支援プロジェクトBLUEと自然塾寺子屋が連携し、“BLUE-GLOCAL GUNMA”を始動

JICAは共創に係る数多くの支援事例を有しています

JICAの支援事例

- [NEC XON x 南アフリカスタートアップ](#) -



NEC、Agrilogiq、Locstat、JICA、調査団

- JICAは、南アフリカで実施したNINJAアクセラレーター・オープンイノベーションプログラムにて、NECの子会社であるNEC XONの現地におけるスタートアップとのマッチング及びPoCの企画・運営を支援
- 現地スタートアップのAgrilogiq及びLocstatを採択し、3か月の実証実験を実施
- 結果、NEC XON社は、採択した2社を公式バンダーとして採用する事となり、イノベーションを促進のきっかけとなった

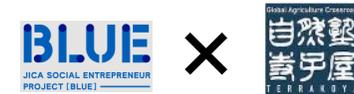
—— [エアロネクスト x Newcom](#) ——



Newcomとエアロネクスト

- エアロネクストは、JICA Bizを通じて、モンゴルでのドローン市場を調査。スタートアップ単体でマーケットを確立するのは困難であるため、モンゴルの大手投資会社Newcom Group、セイノーホールディングス、KDDIスマートドローンらと「モンゴル新スマート物流推進ワーキンググループ」を発足
- JICAは、現地の土地測量地図庁から飛行予定エリアの数値標高モデルの提供を受け、フライトプランの作成等を支援

—— [JICA海外協力隊 x 自然塾寺子屋](#) ——



本部併設のコミュニティスペース

- JICA海外協力隊起業支援プロジェクトBLUEと自然塾寺子屋が連携し、地域起業、事業開発、事業承継に興味をお持ちの海外協力隊OV等を対象に“BLUE-GLOCAL GUNMA”を始動。
- 参加者は6日間のプログラムを通して、ご自身の経験の棚卸しと地域事業開発に必要な知識と知恵を体得できる

東京でのローンチイベントでは、QUESTの説明に加えアフリカ、インドのゲストセッションにて新興国のイノベーション事例や共創ニーズを紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております

ローンチイベント 東京

参加無料

主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）
運営：デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 / デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社 / 有限責任監査法人トーマツ

JICA共創×革新プログラム「QUEST」ローンチイベント

SusHi Tech TOKYO 2025 に合わせて開催！！

アフリカ発グローバルイノベーション
～世界展開を狙うアフリカビジネスモデル～

インドのスタートアップエコシステムの今と
オープンイノベーション機会

品田 諭志氏 Verod-Kepple Africa Ventures パートナー
Nour El-Assal氏 Tagaddod Co-founder & CEO
Kavikrut氏 T-Hub CEO
Setu Sharma氏 T-Hub International Programs Manager
Priyanka Ravala氏 T-Hub International Programs, Partnerships & Strategy Director

5/8 木 17:30～20:15

有明セントラルタワーホール&カンファレンス / オンライン

お申し込み・詳細 ▶

時間		内容
17:00	-	開場、受付開始
17:30	17:40	開会挨拶、JICA共創プログラムQUESTの背景や概要紹介
17:40	18:10	トークセッション① 「アフリカ発グローバルイノベーション ～世界展開を狙うアフリカビジネスモデル～」 ・品田 諭志氏 Verod-Kepple Africa Ventures パートナー ・Nour El-Assal氏 Tagaddod Co-founder & CEO（エジプトのSAF製造スタートアップ） ・その他ゲスト調整中
18:10	18:40	トークセッション② 「インドのスタートアップエコシステムの今とオープンイノベーション機会」 ・Kavikrut氏 T-Hub CEO ・Setu Sharma氏 T-Hub International Programs Manager ・Priyanka Ravala氏 T-Hub International Programs, Partnerships & Strategy Director ・スタートアップスピーカー調整中
18:40	19:10	JICAリバースピーチ 「共創とイノベーションにおけるJICAの活動、QUESTへの期待」
19:10	19:15	閉会挨拶
19:15	20:15	ネットワーキング

開催	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主催：独立行政法人国際協力機構（JICA） ■ 運営：デロイトトーマツベンチャーサポート、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー、監査法人トーマツ
日時	■ 2025年5月8日(木) 17:30～20:15
場所	<ul style="list-style-type: none"> ■ ハイブリッド ■ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー（SusHi Tech会場から徒歩5分程度）
申込	<ul style="list-style-type: none"> ■ お申込みはこちら ■ 2025年5月6日(火)正午〆切
対象	■ 企業/スタートアップ、教育機関、公的機関、市民団体関係者

名古屋では、「愛知発！社会課題解決に貢献するクロスボーダー共創～」と題し、東海エリア発のクロスボーダー共創について皆様にお伝えします

ローンチイベント 名古屋

案内	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共創と革新による世界の社会課題解決を目指した共創×革新プログラム「QUEST」は、企業、自治体、市民社会、アカデミアなど多様なアクター連携を通じた、イノベティブな共創事業創出を目的としています。対象国や地域を限定せず、事業アイデアコンペティションで選ばれた事業に対しては、独立行政法人国際協力機構(JICA)およびDeloitteよりPoC（実証実験）や持続的な発展に向けた出口戦略の検討支援が提供されます。 ■ 今回は、愛知県界隈の皆さまにQUESTの取組を知っていただく為のローンチイベントを名古屋イノベーション拠点Station Aiで開催致します。愛知県周辺で活躍されている皆様にもご登壇いただきます！ぜひご参画ください。
開催	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主催：独立行政法人国際協力機構（JICA） ■ 運営：デロイトトーマツベンチャーサポート、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー、監査法人トーマツ
日時	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2025年5月15日(木) 17:00～20:00
場所	<ul style="list-style-type: none"> ■ ハイブリッド ■ STATION Ai 1F イベントスペース 〒466-0064 愛知県 名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号
申込	<ul style="list-style-type: none"> ■ 申込フォーム作成中 ■ 2025年5月13日(火) 正午〆切
対象	<ul style="list-style-type: none"> ■ 愛知県周辺の以下の方々 ■ 民間企業（大企業、中小企業、スタートアップ/SU関係者等） ■ アカデミア（研究者大学・高専の研究者や学生等） ■ 行政（地方自治体、独立行政法人等） ■ 市民団体関係者

時間		内容
16:30	-	開場、受付開始
17:00	17:10	開会挨拶、JICA共創プログラムQUESTの背景や概要紹介
17:10	17:40	<p>パネルディスカッション 「愛知発！社会課題解決に貢献するクロスボーダー共創（仮称）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登壇者調整中（大企業の共創・イノベーション創出事例） ・登壇者調整中（SU×アカデミア） ・登壇者調整中（愛知・東海のイノベーションエコシステム紹介）
17:40	17:50	QUESTの具体的な説明（今後の流れ、必要なアクション等）
17:50	18:25	個別相談会
18:25	18:30	閉会挨拶
18:30	20:00	ネットワーキング

※内容や登壇者は変更の可能性があります。
※当日は懇親会も用意しておりますので、是非ご参加ください

<メールでの問い合わせ先>

QUEST担当事務局：quest@tohatsu.co.jp

受付時間：9:30 -18:30 平日のみ、日英対応